マーガレット
花言葉…「secret love（秘密の恋）」
「faith（信頼）」など

純白の花を次から次へと咲かせてくれる、ピュアで清楚なイメージの多年草。
関東地方以西では霜に当てなければ戸外でも冬越しが可能で、冬から春まで長期間花を楽しむことができる。

花のお便り

2022.1　No.187

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

新春のお慶びを申し上げます。今年はどんな年になるのでしょうか？相変わらずテレビはコロナ騒ぎを煽る事に余念が無い様子ですが、そろそろ国民もマインドチェンジしていく時期に来ていると思われます。 2月には北京オリンピックも行われますので、フィギュアの羽生選手をはじめスノーボードの平野選手等の若い人たちの活躍に期待しています。早く明るく前向きなニッポンを取り戻したいと、強く、強く思います。

寒中見舞い承ります

寒中見舞いといわれてもあまりなじみがない方も多いと思いますが、幅広い用途がある便利なツールですのでお試しいただけると幸いです。
年末のバタバタで年賀状を出しそびれた時や、喪中はがきを出しそびれた相手から年賀状をもらってしまって困った時は寒中はがきで代用できます。
また、本来の用途であります最も寒さの厳しい時期に相手を気遣い、自身の近況を報告する季節の挨拶状としてもご利用いただけます。
寒中見舞いを送る時期は、松の内（元旦～1月7日）を過ぎてから、節分（2月3日頃）までに届くようにしましょう。二十四節気の小寒と大寒に当たる時期を「寒中」といいます。
チラシをご希望の方はお送りします。また、書き方やマナーで困った時はお気軽にご連絡ください。

A氏の気まぐれエッセイ　年賀状はきっかけになる

昨今、国民の筆離れが進むにも関わらず、みやざき印刷の年賀状の売上件数は例年よりも大幅に減ることもなく、無事に受付を終える事が出来ました。これも一重にお取引のある事業者様や地域の皆様のおかげだと思っております。改めてありがとうございます。
思えば一昨年の2020年の正月、友人との年賀状を見ながら「今年はこの人達全員と会う」と心に決めた事を思い出しました。しかしながら、早々にコロナ騒動が始まり、人と会う事が許されない状況となり、1年を紋々とした気持ちで過ごす事になりました。

そして2021年正月、毎年やり取りしている年賀状には「今年こそ会おうね」と書かれてある。時間は有限であり、今その時を大切にしたい、そんな気持ちで私はまた「今年こそは会おう」と決めました。そして、緊急事態宣言やマンボウの合間にアポを取り、私は友人達と数年ぶりに会う事が実現しました。
友人達と顔を見て話し、笑い、楽しみを共有することによって、年に一度の年賀状のやり取りだった友人達と、日常のちょっとした悩みや不安を、気軽に会ったりLINEをしたりする事で、以前よりも「風通しの良い関係」を築けるようになりました。
2022年の今年も、友人から来た年賀状を見ながら「まだまだ会いたい人は沢山いる」と思うと、とても楽しみになりました。全ては「年賀状がきっかけになる」と思うと、まだまだ年賀状を推す立場で居続けたいと思いました。
今年も宜しくお願いします。